

# ～奇跡のトチノキ物語～

【*Aesculus turbinata*】

この木が植えられたと考えられるのは、1988年。この地に株式会社海洋バイオテクノロジー研究所が建設され、そのコンクリート張りの中庭の中心にただ1本オブジェ的に植樹され、大切に管理されてきました。約20年後の2008年4月からは北里大学にその運営母体に変更されましたが、変わらぬ姿で多くの学生・職員を癒してきたのです。

この木の岐路は2011年3月に発生した東日本大震災。大津波は当施設を一瞬にして海の藻屑と変えてしまいましたが、奇跡的にこの木だけは建屋が堤防替わりとなりその被害を免れたのです。

多くの方々に愛されたこのトチノキは、現在でも岩手大学釜石キャンパスの玄関前で静かに来客者・職員・学生を見守り続けています。

旧(株)海洋バイオテクノロジー  
研究所中庭に立つトチノキ



津波の生々しい爪痕が残る幹

